

第2回 介護・医療連携推進会議 議事録

ステップこはま24hケアステーション

開催日時：令和8年2月26日（木）14時～15時

開催場所：介護老人保健施設ステップハウス宝塚 会議室

出席者：（小浜自治会長）吉村様、

（4地区民生児童委員）岡田様

（宝塚市介護保険課）梅田様（地域包括支援センター）安藝様

（訪問看護ステーションかいな）矢野様、北様

（訪問看護ステーション雅）合楽様

（ステップこはま訪問看護ステーション）野口様

（事業所出席者）吉川、長谷川

欠席者：（宝塚市医師会）合田様、訪問看護ステーションスイッチオン宝塚様、（家族）

議題内容

1、事業報告

利用者：平均 19.8名/月（前回より0.8名増）

平均年齢：84.9歳（男：84.5歳、女：85.8歳）女性の平均年齢高い

平均介護度：3.2（全国平均：2.6）介護度平均下がってきている

家族構成：①独居—約60%、②昼間独居—約0%、③高齢者夫婦世帯—約25%

④家族と同居—15%

利用形態：2名がヘルパーのみの利用で、大半が訪問看護サービスを利用（連携型・医療保険）。

連携型の訪問看護ステーションは、4ステーション。

新規16名

終了：看取り2名、施設入所2名、入院7名、既存のサービスに移行1名

訪問件数：1,174件/月 随時訪問：26件/月

随時対応：内容 排便の訴え、転倒、不安からの電話対応が主。

活動地域：3・4地区に集中

収入：平均約473万/月。前回より23万増。

2、自己評価・外部評価の報告 添付資料参照下さい。

I-(2)-5 訪問看護、訪問介護、定期巡回の3係で合同カンファレンスを1月に開催。感染症をテーマに看護師への報告時の観察ポイントや、ガウンとグローブの正しい着脱方法の実技練習の実施。

II-1-(2)-15 骨折などの痛みのコントロールのための服薬介助なども状況に応じて訪問回数増やして対応。

II-3-(1)-29 県の連絡協議会の依頼を受け、訪問看護・訪問介護についての出前講座を11月には伊丹西高校、1月には中山五月台中学校に実施。

医療と介護の連携について

添付資料参照

3、意見交換

かいな訪問看護 矢野様

定期巡回さんには、感謝しかありません。連絡するか悩んだときは、この時間、今を安心して寝られるかどうかだと思います。スタッフによっては、MCSの着信が来る度、閲覧している人もいます。休みの日や夜間に閲覧する人もいますので気にしています。

訪問看護 雅 合楽様

何かあれば、電話もらえたらありがたいです。

いつも助かっています。写真の添付も非常にありがたいです。

ステップ訪問看護 野口様

去年7月にこちらに異動となり、色んなところで、連携の必要性を感じています。つつい慣れてきたら連携の意識が薄れてしまうので、いい機会だと思いました。ありがとうございます。

かいな訪問看護 矢野様

個人情報(被保険者証等)、取り扱いはどうしていますか？やり取りはどうされていますか？
→MCSのツールのつながりに載せたり、第三者に漏れないように個人情報についての取扱いに気を付けて行っています。

MCSに良かれと思って、デイサービスの不満をそのまま載せてしまっていました。グループ内は、デイも含む沢山のスタッフで共有しているので、すぐに削除し、事務所内でヒヤリハットも上げました。文章に残ってしまうので、電話で直接デイに報告しました。

地域包括支援センター 安藝様

命の最前線での工夫、ヘルパーも勉強されていて凄いなと感じました。包括は現場から少し離れた場所なので、こういった内容や意見を色々と聞けて良かったです。

かいな訪問看護 矢野 NS

是非とも、地域包括にもMCSに入って欲しいです。

困難ケースもあるので、入っていただけると凄く助かります。

→市からの委託となっていて、個人情報のこともあると思いますが、元々、災害時に使用するツール目的でもあるので、市も検討してもらえたらと思います。

4 地区民生委員 岡田様

初めての参加だった為、どんな会議なのかドキドキしながら参加しました。色々と勉強になりました。

宝塚市介護保険課 梅田様

訪問の連携の大切さ、ツールが沢山あって逆に大変だと感じました。

小浜自治会長 吉村様

医療と介護の連携についての資料がとてもよく出来ていて非常にわかりやすかったです。医療と介護の連携で、色んな事が行われているんだなと感心しています。

次回開催予定日

令和8年 7月 23日(木) 14時～15時半